

附属平野グロッサリー 【美術科】

分野の凡例…【全】全体を通して 【表】表現全体 【絵】絵や彫刻などに表現する活動 【デ】デザインや工芸などに表現する活動 【鑑】鑑賞

教科	分野	用語	考	確	発	定義
美	全	考える	○			感じたことや考えたことなどを、絵や図、言葉などで表してみる。
美	全	確かめる		○		自分の「考え」を、他者や先人の考え、造形理論などの情報を参考にしたり、客観的に見返すなどして、判断したり更新したりする。
美	全	発動する			○	「考え」、「確かめ」たことをもとに、考えを広げ、深め、表現する。
美	全	感じる	○			直感を大切にしながら、形や色彩、材料、光などから、自分がどのように感じたかを捉える。
美	全	造形的な視点から判断する		○		形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などから、感じたことの根拠を確かめる。
美	全	説明する	○	○	○	自分が感じたことや考えたこと、学習し身につけたものを、具体的に根拠をあげて言語化する。
美	全	柔軟に捉える	○	○		一つの考えに固執せず、他者の意見や、その場で起きていることをみつけて自分の考えに取りこんでいく。
美	全	主題（テーマ）を生み出す	○	○	○	課題に応じて、自分が表現しようとするものやことについて考え、確かめ、決定する。
美	全	創造的な技能を働かせる	○	○	○	自分の表現の意図に応じて創意工夫して表す。
美	全	創意工夫する	○	○	○	変化する状況や課題、未知の状況などにも対応し、これまでに身につけた感覚や経験を発展させて、思考、判断、表現する。
美	表	アイデアスケッチする	○	○		感じたことや考えたことなどを絵や図、言葉などでかき出し、それらを基にして考えをまとめたり、新たに生み出したりする。
美	表	表現する	○	○	○	表現の意図に応じて、材料や用具の特性などを生かしたり、見通しをもったりしながら表す。
美	絵	発想する	○	○		対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出す。
美	絵	構想する	○	○		全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、制作の手順を考える。
美	デ	発想する	○	○		構成や装飾、伝える、使うなどの目的や条件などをもとに、主題を生み出す。
美	デ	構想する	○	○		伝える、使うなどの目的や機能と美しさなどとの調和を考える。
美	鑑	みる	○			意識をもって隅々までみて、感じ、考え、イメージを捉える。
美	鑑	見方や感じ方を深める	○	○		自分が感じ取ったことを造形的な視点から考え、具体的な根拠をもって捉える。
美	鑑	鑑賞する（絵や彫刻など）	○	○		造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える。
美	鑑	鑑賞する（デザインや工芸など）	○	○		目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考える。
美	鑑	鑑賞文をかく	○	○	○	感じ取ったよさや美しさなどについて、具体的な根拠をもって記述する。
美	鑑	発表する	○	○	○	感じたことや考えたことを的確な言葉や文章などにして、他者に伝える。
美	鑑	きく	○	○		他者の意見や発表などに、意識をもって耳を傾ける。